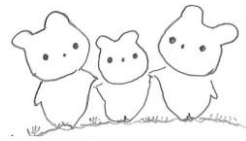


このコーナーは、区民大学“生涯学習リーダー養成講座”修了生が企画し取材した「区民による区民のための」手作り記事です！

シリーズ

つなごう、OTA その38



地域環境リーダー養成講座発→

はばたく地域活動

おおたく環境探検隊

～人と自然とが共生できる街づくり～

● 身近な自然を体感

地域の水辺や公園を学習の場として、子どもたちや保護者に身近な自然を体感してもらう機会を提供している『おおたく環境探検隊』。東京都環境学習センターと大田区環境保全課が協働で開催した『地域環境リーダー養成講座』の修了者が立ち上げました。六郷用水と生き物、地域との関わりをテーマに活動を開始しました。現在の主な活動拠点は田園調布せせらぎ公園（東急多摩川駅前）です。平成17年からは、せせらぎ公園の湧水を利用した田植えも始まりました。

現在は「おおたの生き物はっけん隊」と「みんなの田んぼづくり」の2グループで活動しています（環境保全課と協力）。「生き物はっけん隊」は、せせらぎ公園や水路に生息する生き物を観察したり、公園内に鳥の巣箱を取り付けています。「田んぼづくり」は、種まき、田植え、かかし作り、稲刈り、そして収穫した米をみんなで食べる、という活動をしています。

年1回（3月～4月頃）、参加する親子を募集しています。今年度は、「生き物はっけん隊」は45名に対して80名、「みんなの田んぼ」は60名に対して220名の応募がありました。

● 「おおたの生き物はっけん隊」

4月27日、25名の子どもたちと保護者、スタッフが集まりました。この日の活動は「春のせせらぎ体験」です。園内を一周し、池の生き物調べ、落ち葉を使ってグー・チョキ・パーに見立てたジャンケンゲームなどを通して自然の魅力に

触れます。メインの活動は、周囲30mくらいの小さな池の周りで行われました。池の水温、水質を調べ、子どもたちに生き物が住む環境について教えます。その後、子どもたちが網を持って集まり、底の枯葉や泥をすくうと、中から1cm～3cmくらいのザリガニが出てきました。こんな小さなザリガニでもちゃんとザリガニの形をしていることにみんな感動していました。子どもたちは約1時間の活動で86匹のザリガニの赤ちゃん、蛭のえさになるカワニナ2匹をつかまえました。最後に先生からザリガニのオス、メスの見分け方の説明を受けて全て池に戻しました。



池の作業の様子

● 「みんなの田んぼづくり」

5月25日、せせらぎ公園の一部を開墾した小さな水田で田植えが行われました。

5月3日に育苗方法を学び、ペットボトルの中に種まきをしました。まいた種もみを各家庭で3週間、水と愛情をたっぷり注ぎ、育てたそうです。『毎日のびて楽しかった!』『学校から帰って、た

だいまより苗を見に行ったらよ！』など声を上げながら、23名の子どもたちは立派に育った苗を誇らしげに、いかにも大事そうに抱えていました。

まず泥に慣れる練習です。「今日は泥んこになるので服が汚れるのは家族の人に大目にみてもらいましょう」という代表 北間澄代さんの一言で田植えが始まりました。



ペットボトルで育てた苗

安全のため長靴、サンダル、地下足袋などを履いて田んぼに入りますが、思うように動けません。泥に足をとられ転んだり、手をついたりしながら真剣に取り組めます。それでも、子どもたちの顔はうれしそうに輝いていました。

1時間半ほどで小さな田んぼに苗が植えられました。その後、スタッフが水を入れていきます。泥んこになった子どもたちは田植えの道具などと同じように水をかけて体を洗っていました。大はしゃぎです。

田植えを経験したことのない保護者、特にお父さんたちは張り切っていました。お母さんたちもにこにこ笑って見ていました。



田植えの様子

田んぼに欠かせない水は、せせらぎ公園の湧水を利用しています。その湧水量は年によって変化するため、不足すれば参加者とスタッフ全員が交代で、水道水を注水しています。

●スタッフ募集中！

巣箱に出入りする親鳥の姿を見たり、田植えをしたり、都会ではなかなか体験できない活動です。スタッフは年々減って現在16名。できるだけ多くの子どもたちに参加してもらうためにもスタッフをどう増やすのかが課題になっています。自然が好きで興味がある方、スタッフとして参加してみませんか。

おおたく環境探検隊

連絡先：北間 TEL：090-9132-1349

eメール：

ootakankyoutanken50@yahoo.co.jp

ブログ：[http://blogs.yahoo.co.jp/](http://blogs.yahoo.co.jp/ootakankyoutanken50)

ootakankyoutanken50

《取材を終えて》

- ♪ 地下足袋にはきかえた男の子どもさん、田んぼに入ってもしっかりしているのはさすが！！ミニ田んぼから生まれる親子のほのぼのとした関係が心地良かったです。（橋本フミ子）
- ♪ こんなに小さな池ながらザリガニが86匹も取れたとはびっくりしました。（一柳 勝）
- ♪ 都会の中でのオアシスを探し求めている活動のように思いました。親子ともども緑を大事にしていこうという姿勢が今後の都会生活の在り方を示してくれるような気がしました。（中村 彰）
- ♪ 現代の子どもたちがこんないきいきと眼を輝かせる場所、素晴らしいです。北間さんが子どもたちに向けて「ありがとう」という言葉が心に残っています。（田中 康子）